電子ドライのパイオニア
TOYO LIVING

FLAT DRY

フラット・ドライ®

取扱説明書

このたびは フラット・ドライ® をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
ご使用の前に、 この取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
裏表紙の品質保証書に必要事項をご記入の上、この取扱説明書を大切に保管してください。

目 次

- 特長 ……1
- 各部の名称 ……1
- ご使用前の準備 ……2
  - 製品の設置のしかた ……2
  - センター支柱の外しかた ……2
  - デジタル温湿度計の表示方法 ……2
- ご使用方法 ……3
- ご使用に関する注意点 ……3
- 運転のしくみ ……3
- 移動・運搬をするときは ……3
- お手入れ ……3
- 安全上のご注意 ……4
- 故障かな？と思ったら ……4
- 故障のときは …… 裏表紙
- 仕様 …… 裏表紙

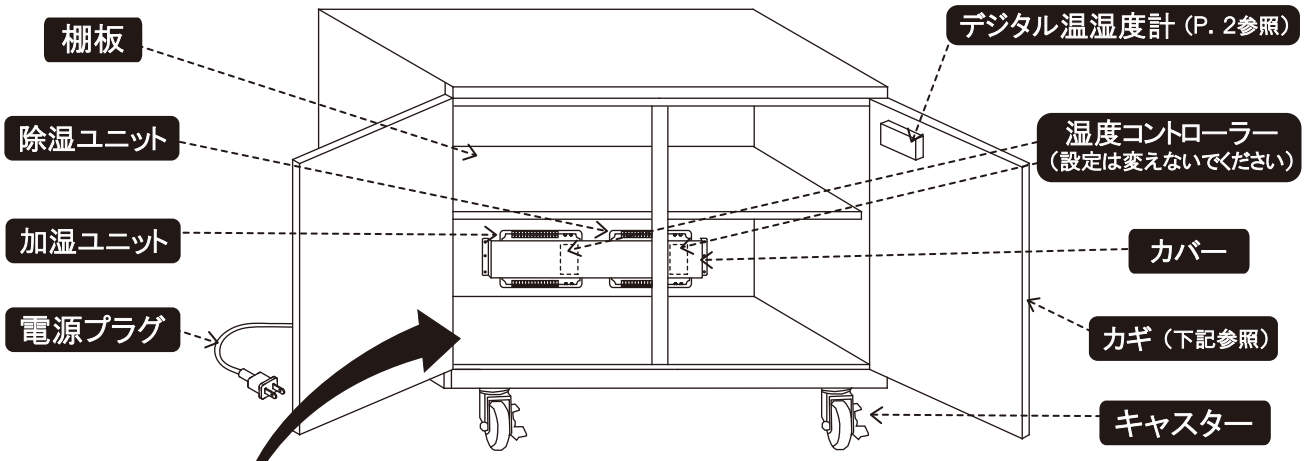
オート・ドライ 全自動電子防湿保管庫 スーパードライ
〈形状記憶合金実用化第1号機〉

特長

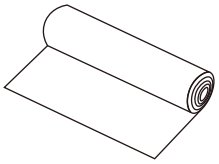
- ◆ フラット・ドライ® は除湿ユニットと加湿ユニットで庫内湿度を一定に保ち、 長期間安心して保管することができます。（但し、 使用環境は周囲温度：20～30℃・ 周囲湿度：30～70%RHです）
- ◆ 中湿度での保管が必要な弦楽器・管楽器・美術品・古文書・絵画・掛軸・証書・賞状など多彩な用途に対応できます。
- ◆ 保管物をカビ・ホコリ・虫食い・ヒビ割れ・変形などの深刻なトラブルから守ります。

各部の名称

※ フラット・ドライは受注生産品ですので製品形状がそれぞれ異なりますが、 基本となる各部の名称は共通です。

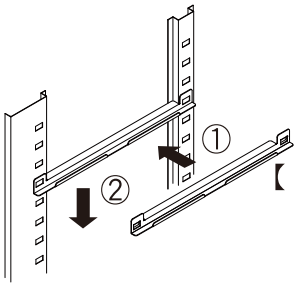


調湿シート
（庫内に置いてご使用ください）



棚受けの設置のしかた

棚板付きの製品は
棚受けを上下に移動し
お好みの位置で
ご使用いただけます。

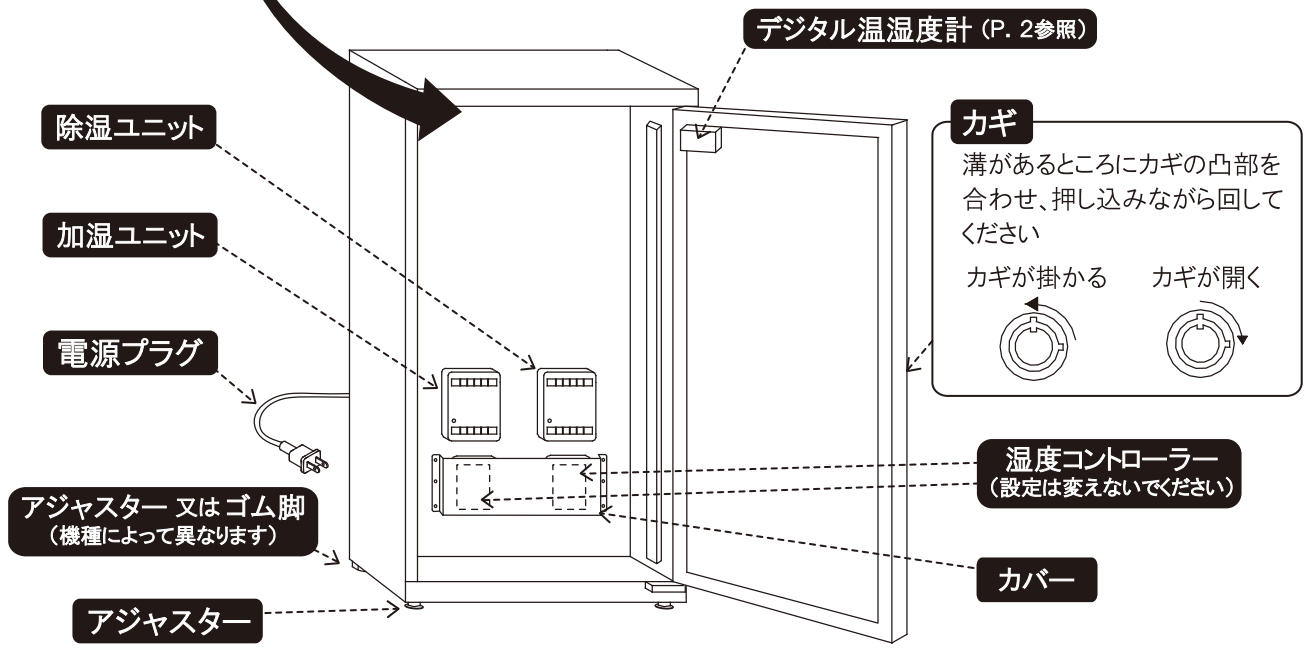


① 棚受けを差し込みます

② 棚受けを下方向へ
押して固定します

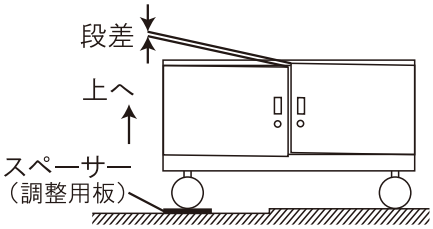
【 棚受けの設置に関する注意 】

棚受けは手前側と奥側で
同じ高さに差し込んでください。



ご使用前の準備

製品の設置のしかた



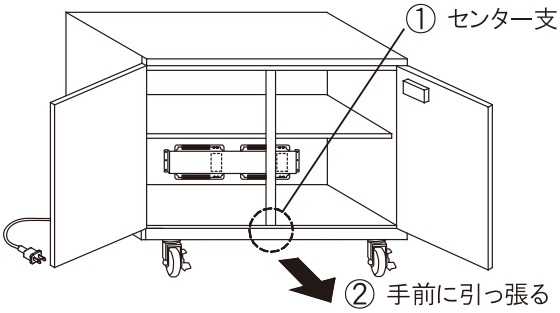
※キャビネットを移動させる際は必ず庫内の保管物を取り出してから移動してください。

- 水平で、製品の重量に十分耐えられる場所に設置してください。水平に見える場所でも凹凸がある場合があり、扉がずれることがあります。 キャスター付きの場合は、 キャスターの下に付属の調整用板を挟んで調整してください。 アジャスター付きの場合はアジャスターにて調整してください。
- 本体側面と壁、背面と壁は2センチ以上の空間を設けてください。キャビネットの上方には、5センチ以上の空間を設けてください。
- 横倒し・あお向けには設置しないでください。
- 次のような場所には設置しないでください。
  - ・直射日光の当たる場所　・エアコンの風が直接当たる場所　・ほこりの多い場所
  - ・熱器具の近くなど温度が上がる場所　・不安定な場所　・油煙や湯気が当たる場所

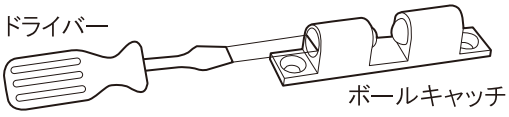
センター支柱の外しかた（センター支柱付き製品のみ）

- 長い物を収納する際、 センター支柱をワンタッチで外すことができます。

※扉を閉める時には必ず支柱をもとの位置に戻してください。

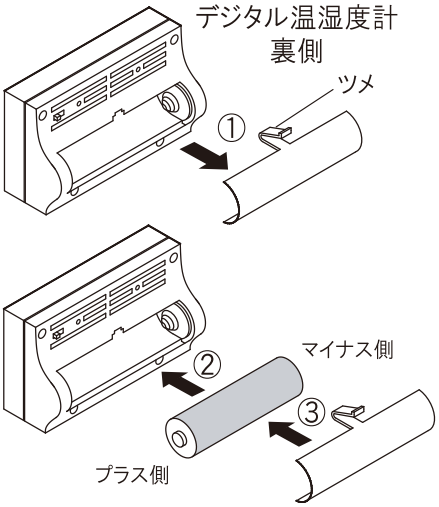


ボールキャッチ調整方法



調節ネジ　右（時計回り）方向 → 強（締まる）
左（反時計回り）方向 → 弱（緩和）

デジタル温湿度計の表示方法



① デジタル温湿度計の裏側にある電池ボックスのフタ上部のツメを押し下げながら、 フタを取り外します。

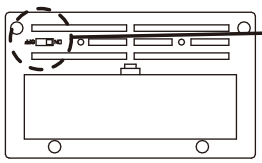
② 単3電池を電池収納部へしっかりと入れてください。
電池収納部に電池の向きが描かれていますので、 間違えないようご注意ください。

プラス側 ⊕ ▭ ⊖ マイナス側

③ 電池を収納した後、 電池ボックスのフタを閉じます。
はじめにフタの下部のツメ2箇所を入れてから、上部のツメをカチッというまで押し込みます。

④ スイッチをONにすると液晶部に湿度と温度が表示されます。

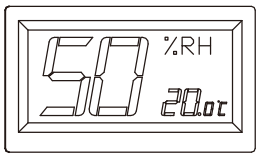
④



スイッチのつまみをONへスライドしてください。（出荷時はOFFです）

OFF ■ ON

➡ スライドする



【 デジタル温湿度計に関する注意 】

- デジタル温湿度計の精度は30～50%RHのとき ±6%RHです。
- 液晶表示はその特性上、 数年で表示が薄れることがあります。
- 付属の電池はテスト用のため、 消耗が早い場合があります。

ご使用方法

1. **電源プラグをコンセントに差し込むだけで、 庫内湿度を40～60%RHに自動で調節します。**
2. 目標湿度になるまで空の状態で運転してください。
3. 湿度が安定しましたら保管物を入れてご使用ください。
   湿度コントローラーのダイヤルは出荷時に調整済です。 **設定は変えないでください。**

※ご不明な点がございましたら
弊社サービス部へご連絡ください。

ご使用に関する注意点

- 保管物を庫内に入れると、 一時的に庫内の湿度が変動する場合があります。
- 庫内が目標湿度で安定するまでに1～2日かかる場合があります。 特に布類・紙類など水分を含んだ物を入れると、湿度が安定するまでに1週間以上かかる場合があります。
- 各ユニットが作動開始する前後は、 ユニット及びその周囲が熱くなります。 また、 ユニットに水蒸気が付着することがありますが異常ではありません。
- 各ユニットが作動開始する前後は、目標湿度の範囲に入らない場合があります。
- 温度調節機能はありません。
- 週に一度は庫内の湿度が安定しているかをご確認ください。
- 冷暖房による温度変化や昼と夜の温度差によって庫内湿度は変化します。
  （温度が上がると湿度は下がり、 温度が下がると湿度は上がります）

運転のしくみ

- 庫内の湿度が上昇し目標湿度の範囲を上回ると、 除湿ユニットが作動します。
  庫内の湿度が低下し目標湿度の範囲を下回ると、 加湿ユニットが作動します。
  庫内が適切な湿度になると、 ユニットは作動を停止します。
- 庫内が適切な湿度の状態では、 運転を開始してもどちらのユニットも作動しません。
  （環境によって作動し始める湿度は異なります）
- ユニットが作動中は赤いランプが点灯します。
- 調湿シートは急激な湿度の変動を和らげる効果があります。 庫内に置いて、 そのままご使用ください。

移動・運搬をするときは

- 庫内に入っている物をすべて取り出してください。
- 電源プラグを抜いてください。
- 棚を取り出していただくか、 棚や扉をテープで固定してください。
- 本体を持って移動・運搬してください。ドアを持つと破損・故障の原因になります。

お手入れ

- お手入れの前に電源プラグを抜いてください。
- 汚れは柔らかい布または化学雑巾で拭き取ってください。
- シンナー・ベンジン・磨き粉・洗剤等は製品を傷める可能性がありますので使用しないでください。
- 月に一度はユニット本体に変色がないこと、背面の放熱口にホコリが溜まっていないことを確認してください。
- 電源コードに亀裂や擦り傷がないことを確認してください。
- 電源コードやコンセントにホコリが溜まっていないことを確認してください。
- 10年を超えてご使用いただく場合は、 安全のため確認頻度を増やしてください。

安全上のご注意

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠ 警告	死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。
⚠ 注意	傷害又は物的損害を発生する可能性のあるもの。

図記号の意味は、下記の通りです。

絶対に行わないでください。	絶対に分解・修理・改造はしないでください。
必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。	ご注意ください。

⚠ 警告

ユニットの異常時（煙が出る・こげ臭いなど）には電源プラグを抜く。	ユニット内部に異物や水などが入ったり、ユニットを破損した時は電源プラグを抜く。	ユニットの分解・改造をしない。
プラグを抜く お客様による修理は危険ですので弊社サービス部にご相談ください。	プラグを抜く お客様による修理は危険ですので弊社サービス部にご相談ください。	分解禁止 内部には電圧の高い部分があり感電の原因となります。
火災・感電の原因。	火災・感電の原因。	火災・感電・けがの原因。
異物を入れたり、 可燃性スプレーを吹き付けたりしない。	ユニットを濡らす可能性のあるものを置かない。また、 水のかかる場所で使用しない。	電源コードを破損するようなことはしない。
禁止 ユニットの排気口などから内部に指や金属類、 燃えやすい物などを差し込まないでください。	禁止 水が電子ドライユニットに入った場合火災・感電の原因となります。	禁止 電源コードを引っ張ったり、傷つけたり、物を載せたり、 加工・加熱したり、無理に曲げたりねじったり、高温部に近づけないでください。
火災・感電の原因。	火災・感電の原因。	火災・感電の原因。

⚠ 注意

ユニットの排気口をふさがない。	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。	キャビネットの上に乗ったり、 重い物を置いたりしない。
禁止 内部に熱がこもり、 火災や故障の原因となることがあります。	禁止 電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。	禁止 倒壊や落下の可能性があります。
火災・故障の原因。	感電の原因。	けがの原因。
揮発性・引火性のあるものは入れない。	強酸性の薬品などは入れない。	ガラスに物をぶつけたり、 強い力を加えたりしない。
禁止 エーテル、ベンジン、LPガス、シンナーアルコール、 接着剤などは絶対に入れないでください。	禁止 塩酸・硫酸・写真用薬品などは絶対に入れないでください。	注意 ガラスが破損する可能性がありますのでご注意ください。
火災・けがの原因。	腐食の原因。	けがの原因。

故障かな？と思ったら（修理をご依頼される前にご確認ください）

除湿 / 加湿ユニットが熱くなる

- 乾燥剤に吸着している水分を放出させるためですので、異常ではありません。

デジタル温湿度計に表示が出ない

- 新しい電池に ご交換ください（単3電池1本使用）。

電源プラグをコンセントに差し込んでも動作しない

- すでに庫内が適切な湿度の場合、 ユニットは作動しません。

目標湿度にならない

- 運転開始後、 目標湿度になるのに数時間～数日かかります。
  各ユニットが作動開始する前後は、目標湿度を外れることがあります。
  数日以上経過しても目標湿度にならない場合は弊社までご連絡ください。
- 周囲条件から外れた環境でお使いの場合、目標湿度にならない場合があります。

故障のときはサービス部(TEL:045-841-5511)にお電話ください

前記チェック項目をご確認いただき故障と思われる場合は弊社サービス部(TEL:045-841-5511)までご連絡ください。

異常が発生した時はすぐに電源プラグをコンセントから抜いて
弊社サービス部(TEL:045-841-5511)にご相談ください。

仕様

※ 下記以外の製品仕様につきましては、 別紙の仕様書をご参照ください。

型 名	FD-502	FD-120D(B)
性能	安定時：40～60%RH (周囲条件：20～30℃、 30～70%RHの時)	
除加湿方式	乾式吸着方式 (全自動一定時間吸着・再生サイクル方式)	
外寸	W1200×H920×D687 mm	W419×H862×D399 mm
内容量	490ℓ	118ℓ
重量	約58kg	21kg
キャビネット材質	スチール、 粉体塗装	
扉材質	スチール	強化ガラス、 マグネット式
定格電圧	AC100V(50/60Hz)	
定格消費電力	瞬間最大200W	最大110W
付属品	デジタル温湿度計用単3電池(テスト用)、鍵×2、調湿シート、取扱説明書 兼 保証書、スペーサー(調整用板)×4	デジタル温湿度計用単3電池(テスト用)、鍵×2、調湿シート、取扱説明書 兼 保証書